| 授業科目(ナンバリング) | 生徒・進路指導論（QB311） | 担当教員<br>担当形態 | ※満屋　敏夫<br>単独 |
|---|---|---|---|

| 教員免許状取得のための選択の別 | 中・高等学校：必修 | 単位数 | 2単位 | 開講年次 | 3年 | 展開方法 | 講義 | 開設時期 | 後期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科　　目 | 教職に関する科目（生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目） | | | | | | | | |
| 各科目に含めることが必要な事項 | 生徒指導の理論及び方法<br>進路指導の理論及び方法 | | | | | | | | |

| 授業のねらい | アクティブラーニングの類型 |
|---|---|
| 生徒・進路指導を効果的に進めるためには、自己理解や他者である児童生徒の発達段階における考え方や社会性の形成について広く理解しておかなければならない。その基礎的な知識の習得を第一に、学校現場における「生徒指導」の在り方と様々な生徒指導上の問題について学習しながら最近の児童生徒の問題行動について理解を深めていく。そして、キャリア教育の視点を踏まえて、「進路指導の在り方」について具体的に考察する。 | ②⑩ |

| ホスピタリティを構成する能力 | 学生の授業における到達目標 | 評価手段・方法 | 評価比率 |
|---|---|---|---|
| 専門力 | ○生徒・進路指導の基礎的理論とその方法を理解することができる<br>○生徒・進路指導を支える重要用語の内容を理解することができる | 定期試験 | ７０% |
| 情報収集、分析力 | ○児童生徒の自己理解を理解し、その内容をまとめることができる<br>○児童生徒の問題行動を理解し、その内容をまとめることができる | 積極的参加<br>意見発表 | ３０% |
| コミュニケーション力 | | | |
| 協働・課題解決力 | | | |
| 多様性理解力 | | | |

| 出　　席 | 受験要件 |
|---|---|
| 合　　計 | 100% |

**評価基準及び評価手段・方法の補足説明**

授業中は「積極的に参加することを第一に授業内容について意見を発表」（３０%）することと筆記試験による「定期試験」（７０%）を実施することによって評価する。

**授　業　の　概　要**

生徒・進路指導に関する理論及び具体的方法等に関して、３冊の教科書を使用して、テーマに沿って具体的に授業を進めていく。また、授業中の積極的な参加と意見発表をさせることによって、授業内容の理解を一層深めるようにする。

この授業の標準的な１コマあたりの授業外学修時間は、180 分とする。

**教　科　書　・　参　考　書**

教科書：「生徒指導・進路指導論」（図書文化）「文部科学省　生徒指導提要」（教育図書出版）
「文部科学省　高等学校キャリア教育の手引き」(教育出版)

参考書：「文部科学省　生徒指導提要」（教育図書出版）「文部科学省　高等学校キャリア教育の手引き」(教育出版)

指定図書：「生徒指導・進路指導論」（図書文化）

**授業外における学修及び学生に期待すること**

常に社会の出来事に関心を持ち、他者との共生に努めながら、日頃から自己理解に励み、一生懸命に努力する姿勢が大切である。授業中は、積極的に授業に参加して、自分の意見を発表することにより、毎回の授業内容を理解するように心がけることである。そして、この授業で学んだことをこれから目指すそれぞれの教育現場でどのように役立てていくかを考えていく、真摯な態度で取り組む学生に大いに期待したい。

| 回 | テ ー マ | 授 業 の 内 容 | 予習・復習 |
|---|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション<br>生徒・進路指導を学ぶにあたって | 授業の導入として生徒・進路指導の授業の進め方と概要や評価方法を説明する。 | シラバスをよく読み授業に備える |
| 2 | 生徒・進路指導① | 生徒指導の歴史と発展<br>(ガイダンスの意義と必要性) | 「生徒指導・進路指導論」<br>P1～P32 ガイダンスの歴史を理解する |
| 3 | 生徒・進路指導② | 生徒指導の歴史と発展<br>(最近の学校における生徒指導と進路指導・キャリア教育)<br>「フリーター、ニートとは」 | 「生徒指導・進路指導論」<br>P33～P36 ガイダンスの歴史を理解する |
| 4 | 生徒・進路指導③ | ガイダンス・カウンセリングの基礎的理論「発達理論」<br>(児童期・青年期の心理的特徴) | 「生徒指導・進路指導論」<br>P37～P48 発達理論を理解する |
| 5 | 生徒・進路指導④ | 生徒指導・進路指導の理念と性格<br>(生徒指導の役割・生徒指導の意義)<br>「職業観・勤労観とは」 | 「生徒指導・進路指導論」<br>P56～74 生徒指導・進路指導を理解する |
| 6 | 生徒・進路指導⑤ | 生徒指導・進路指導の組織と運営<br>「校務分掌間の連携・協力」 | 「生徒指導・進路指導論」<br>P98～P104 校務分掌の内容を理解する |
| 7 | 生徒・進路指導⑥ | 生徒指導・進路指導の組織と運営<br>「生徒指導・進路指導における教師の役割」<br>(校長・教頭の役割) | 「生徒指導・進路指導論」<br>P104～P108<br>校長・教頭の役割を理解する |
| 8 | 生徒・進路指導⑦ | 生徒指導・進路指導の組織と運営<br>「生徒指導・進路指導における教師の役割」<br>(生徒指導主事・学級担任教師の役割) | 「生徒指導・進路指導論」<br>P109～P114<br>生徒指導主事・学級担任教師の役割を理解する |
| 9 | 生徒・進路指導⑧ | 児童生徒の問題行動「問題行動の理解」<br>「問題行動の概念・種類と特徴」<br>(反社会的行動と非社会的行動) | 「生徒指導・進路指導論」<br>P176～P180<br>問題行動を理解する |
| 10 | 生徒・進路指導⑨ | 児童生徒の問題行動「問題行動の理解」<br>(問題行動の発見と診断・予防) | 「生徒指導・進路指導論」<br>P181～P184<br>問題行動を理解する |
| 11 | 生徒・進路指導⑩ | 最近の問題行動の特徴とその指導①暴力行為②いじめ | 「生徒指導・進路指導論」<br>P98～P114<br>個別課題を理解する |
| 12 | 生徒・進路指導⑪ | 最近の問題行動とその指導③不登校④高校中途退学 | 「生徒指導・進路指導論」<br>P115～P134<br>個別課題を理解する |
| 13 | キャリア教育① | ①キャリア教育とは何か<br>②キャリア教育の必要性と意義<br>③小学校におけるキャリア教育 | 「高等学校キャリア教育の手引き」P9～P44を理解する |
| 14 | キャリア教育② | ④教育と進路指導の定義<br>⑤教育課程における位置付け<br>⑥中学校におけるキャリア教育 | 「高等学校キャリア教育の手引き」P61～P64を理解する |
| 15 | キャリア教育③ | ⑦学科ごとの課題<br>⑧学科ごとの推進<br>⑨高等学校におけるキャリア教育 | 「高等学校キャリア教育の手引き」P129～P131を理解する |
| 16 | 定期試験 | 筆記試験 | 試験の準備学修 |